

# 2022年度 第2四半期 決算説明会

---

2022/10/28

三菱電機株式会社

- 01** 決算のポイント
- 02** 経営環境
- 03** 2022年度 第2四半期 実績
- 04** 2022年度 見通し
- 05** 補足情報

**01** 決算のポイント

02 経営環境

03 2022年度 第2四半期 実績

04 2022年度 見通し

05 補足情報

## 1 22年度1H<sup>(\*)</sup>は、売上高 2兆3,395億円（前年同期比 +2,011億円）、営業利益 805億円（前年同期比 △573億円）

- 円安の影響に加え、量産系事業を中心とした需要増などにより、売上高は1Hとして過去最高を更新。
- 2Qも物流費や部材調達コストが増加。防衛・宇宙システムでの個別案件の採算悪化などもあり、利益は前年同期比減益。

## 2 通期業績見通しは、売上高 4兆9,700億円（前回予想比 +2,000億円）、営業利益 2,700億円（前回予想通り）

- 為替条件の円安への見直しや部材調達コスト増の価格転嫁等により、売上高は上方修正。
- 素材価格・物流費の高止まりや、半導体・電子部品の需給逼迫、防衛・宇宙システムでの採算悪化などにより、利益は前回予想値を据え置く。

(\*)1H：上期（4-9月）

01 決算のポイント

02 経営環境

03 2022年度 第2四半期 実績

04 2022年度 見通し

05 補足情報

- 米国では、企業・家計部門ともに持ち直しが継続した。
- 中国では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンの影響による下押しがみられ、その後の持ち直しも緩やかなものに留まった。
- 日本では個人消費を中心に緩やかな持ち直しが継続したが、欧州では、企業・家計部門ともに持ち直しはより緩やかになった。
- 一部素材価格の上昇や物流費の高止まり、電子部品等の需給逼迫の長期化などの動きがみられた。

## 為替レート

	21年度1H	22年度1H
米ドル	110円	135円
ユーロ	131円	139円
人民元	17.1円	19.9円

- 01 決算のポイント
- 02 経営環境
- 03 2022年度 第2四半期 実績**
- 04 2022年度 見通し
- 05 補足情報

# 連結決算概況(1H)

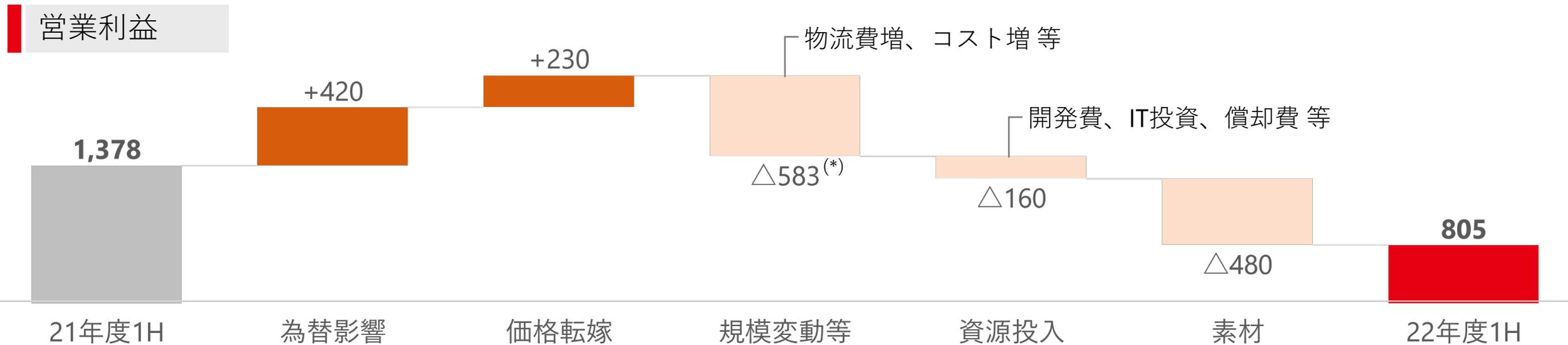
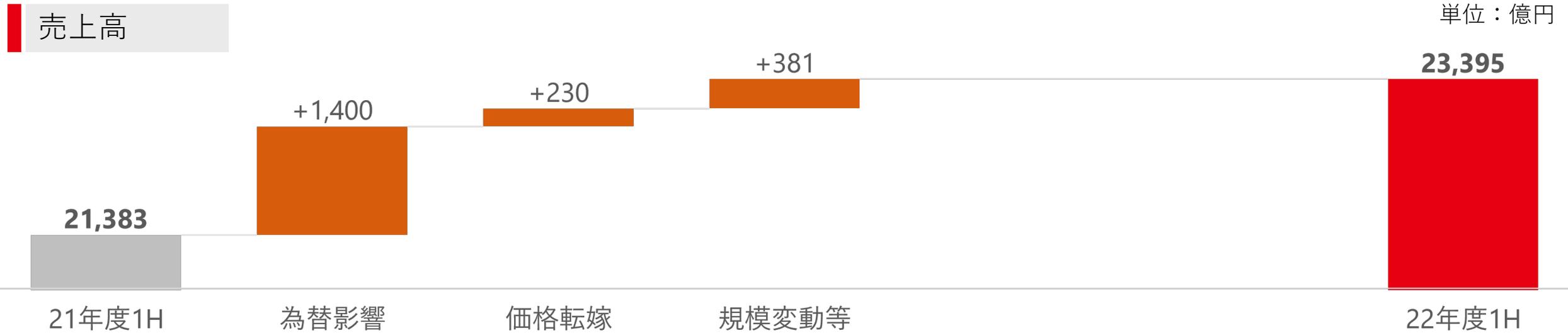
単位：億円	21年度1H	22年度1H	前年同期比	
売上高	21,383	<b>23,395</b>	+2,011	109%
営業利益	1,378	<b>805</b>	△573	58%
営業利益率	6.4%	<b>3.4%</b>	△3.0pt	-
税引前四半期純利益	1,483	<b>1,031</b>	△452	69%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,048	<b>748</b>	△300	71%

# 連結決算概況(2Q)

単位：億円	21年度2Q	22年度2Q	前年同期比	
売上高	10,719	<b>12,718</b>	+1,999	119%
営業利益	550	<b>465</b>	△85	85%
営業利益率	5.1%	<b>3.7%</b>	△1.4pt	-
税引前四半期純利益	588	<b>562</b>	△26	95%
親会社株主に帰属する四半期純利益	430	<b>413</b>	△16	96%

# 売上高・営業利益の変動内訳

単位：億円



(\*)主な内訳：物流費△170、部材調達難△170、電子部品△110、防衛・宇宙システム採算△110

# 連結損益計算書(1H)

単位：億円	21年度1H		22年度1H		前年同期比
売上高	21,383	100.0%	<b>23,395</b>	<b>100.0%</b>	+2,011
売上原価	15,143	70.8%	<b>17,108</b>	<b>73.1%</b>	+1,965
販売費及び一般管理費	4,888	22.9%	<b>5,509</b>	<b>23.6%</b>	+620
その他の損益 (△損失)	26	0.1%	<b>26</b>	<b>0.1%</b>	+0
営業利益	1,378	6.4%	<b>805</b>	<b>3.4%</b>	△573
金融収益・費用 (△費用)	19	0.1%	<b>109</b>	<b>0.5%</b>	+89
持分法による投資利益	86	0.4%	<b>117</b>	<b>0.5%</b>	+31
税引前四半期純利益	1,483	6.9%	<b>1,031</b>	<b>4.4%</b>	△452
法人所得税費用	344	1.6%	<b>226</b>	<b>1.0%</b>	△118
四半期純利益	1,139	5.3%	<b>805</b>	<b>3.4%</b>	△334
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,048	4.9%	<b>748</b>	<b>3.2%</b>	△300

# 連結損益計算書(2Q)

単位：億円	21年度2Q		22年度2Q		前年同期比
売上高	10,719	100.0%	<b>12,718</b>	<b>100.0%</b>	+1,999
売上原価	7,660	71.5%	<b>9,343</b>	<b>73.5%</b>	+1,683
販売費及び一般管理費	2,510	23.4%	<b>2,915</b>	<b>22.9%</b>	+404
その他の損益（△損失）	1	0.0%	<b>6</b>	<b>0.1%</b>	+4
営業利益	550	5.1%	<b>465</b>	<b>3.7%</b>	△85
金融収益・費用（△費用）	△6	0.0%	<b>31</b>	<b>0.2%</b>	+38
持分法による投資利益	45	0.4%	<b>65</b>	<b>0.5%</b>	+20
税引前四半期純利益	588	5.5%	<b>562</b>	<b>4.4%</b>	△26
法人所得税費用	120	1.1%	<b>113</b>	<b>0.9%</b>	△6
四半期純利益	468	4.4%	<b>448</b>	<b>3.5%</b>	△19
親会社株主に帰属する四半期純利益	430	4.0%	<b>413</b>	<b>3.2%</b>	△16

# 連結財政状態計算書

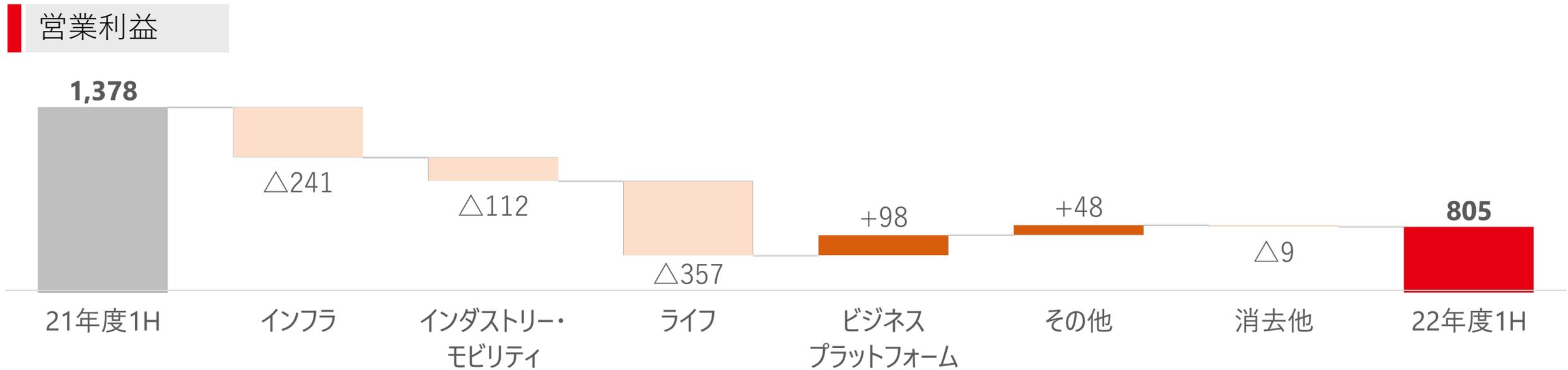
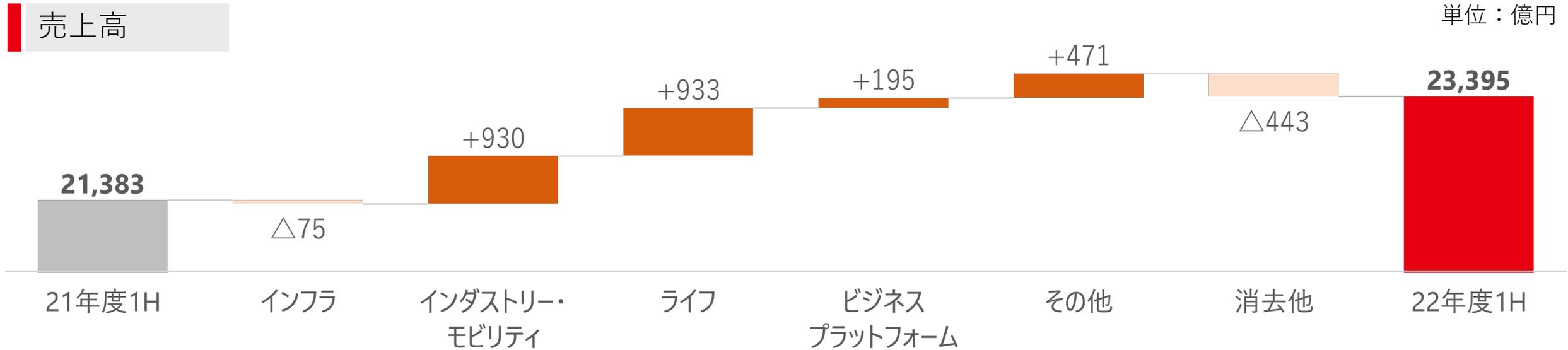
単位：億円	21年度末	22年度2Q末	前年度末比
資産計	51,079	52,046	+966
現金及び現金同等物	7,271	6,315	△955
売上債権・契約資産	12,321	11,634	△686
棚卸資産	9,596	11,380	+1,783
有形固定資産	8,557	8,810	+253
負債計	20,105	19,935	△170
社債・借入金（リース負債除く）	2,171	2,180	+9
借入金比率	4.3%	4.2%	△0.1pt
資本計	30,973	32,111	+1,137
親会社株主に帰属する持分	29,759	30,852	+1,093
親会社株主帰属持分比率	58.3%	59.3%	+1.0pt

# 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円	21年度1H	22年度1H	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,649	<b>507</b>	△1,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△793	△ <b>898</b>	△104
フリー・キャッシュ・フロー	855	△ <b>390</b>	△1,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,325	△ <b>910</b>	+414
現金及び現金同等物の期末残高	7,219	<b>6,315</b>	△903

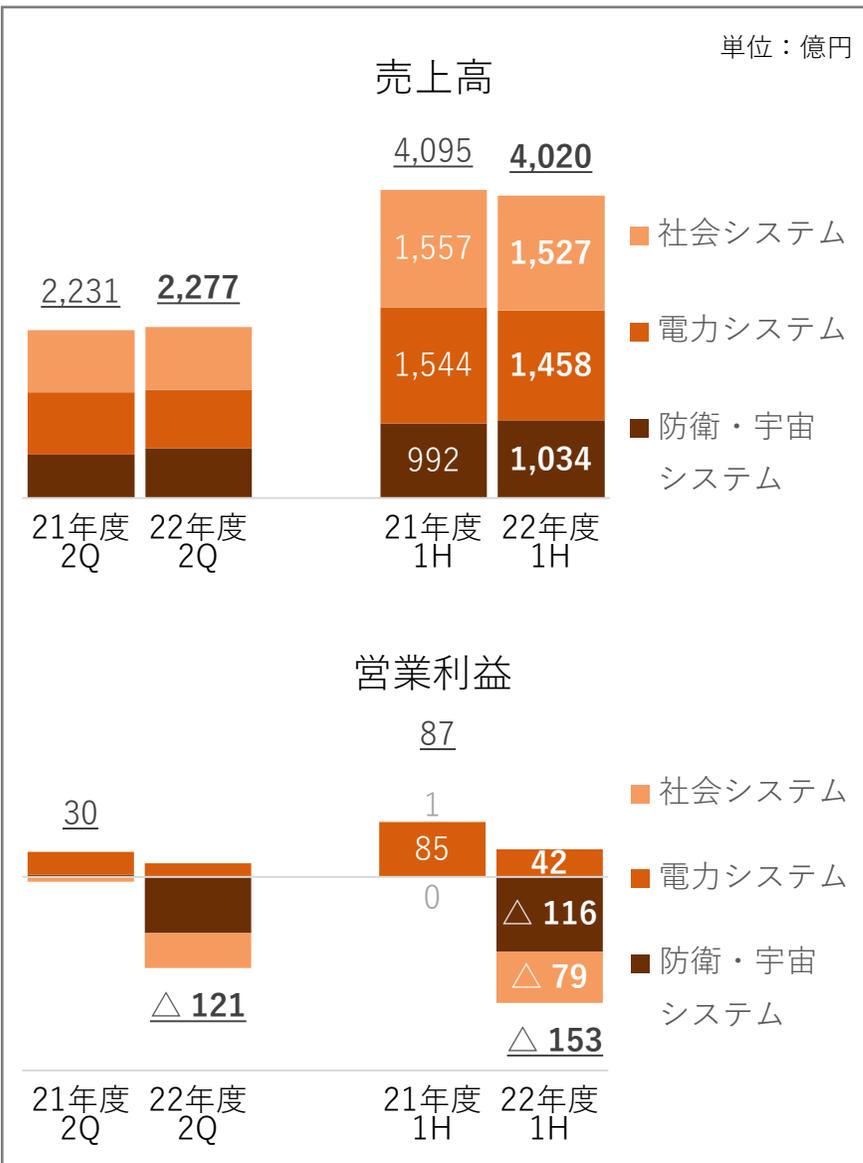
# 売上高・営業利益のセグメント別増減

単位：億円



(注) 22年度より報告セグメントの区分を変更しています。

# セグメント別実績(1H):インフラ



## 売上高 (前年同期比 △75億円)

### ■ 社会システム (前年同期比 △30億円)

- 事業環境は、海外の公共分野における投資が堅調に推移したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた国内鉄道各社における設備投資計画見直しの動きが継続した。
- 受注高は海外の公共分野の増加などにより前年同期を上回ったが、売上高は国内の交通事業の減少などにより前年同期を下回った。

### ■ 電力システム (前年同期比 △86億円)

- 事業環境は、国内電力会社の設備投資の動きが継続し、再生可能エネルギーの拡大に伴う電力安定化の需要などが堅調に推移した。
- 受注高は国内の電力流通事業や発電事業の増加などにより前年同期を上回ったが、売上高は国内の発電事業の減少などにより前年同期を下回った。

### ■ 防衛・宇宙システム (前年同期比 +41億円)

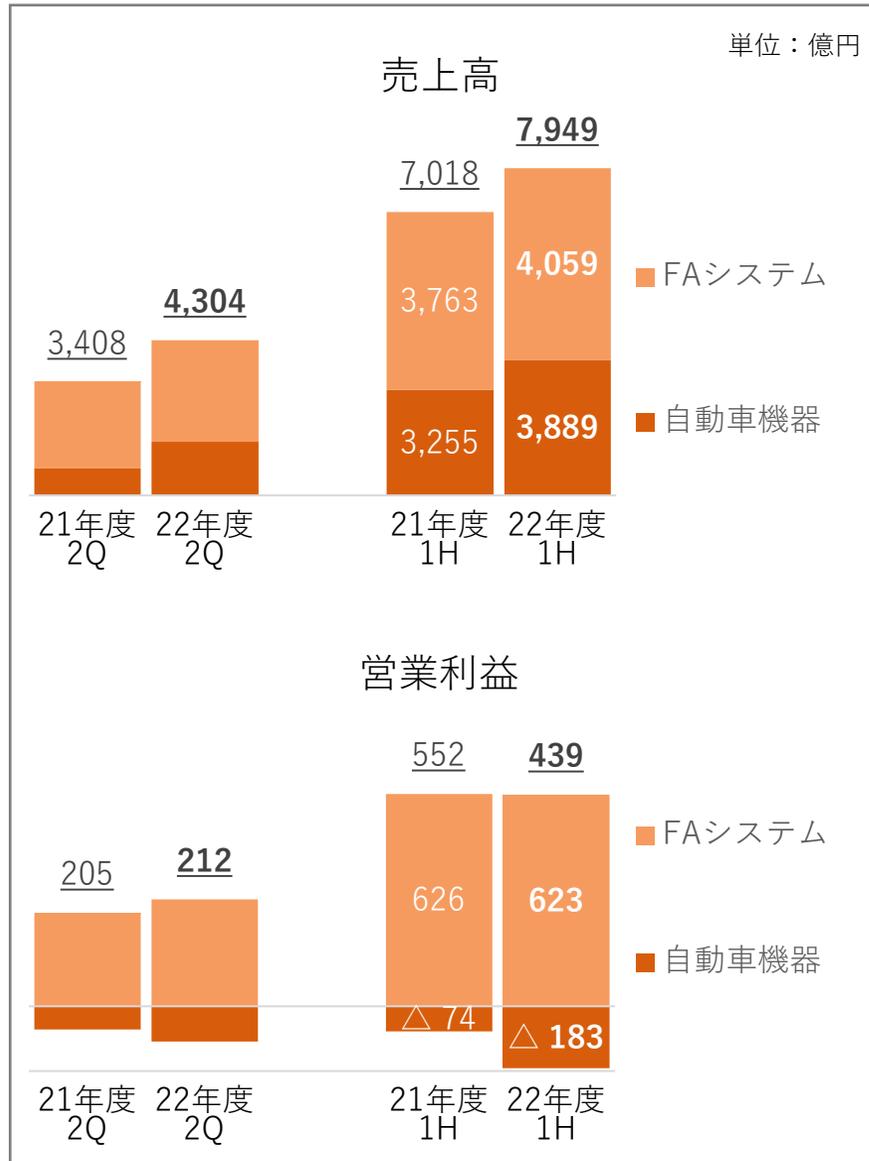
- 受注高は防衛システム事業の大口案件の減少により前年同期を下回ったが、売上高は防衛システム事業の大口案件の増加により前年同期を上回った。

## 営業利益 (前年同期比 △241億円)

- 売上高の減少に加え、売上案件の変動や防衛・宇宙システム事業の採算悪化などにより、前年同期比悪化。

(注) 22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# セグメント別実績(1H):インダストリー・モビリティ



## 売上高（前年同期比 +930億円）

### ■ FAシステム（前年同期比 +296億円）

- 事業環境は、半導体・電子部品などのデジタル関連分野やリチウムイオンバッテリーなどの脱炭素関連分野での設備投資を中心に、国内外で需要が堅調に推移した。
- 受注高・売上高ともに前年同期を上回った。

### ■ 自動車機器（前年同期比 +634億円）

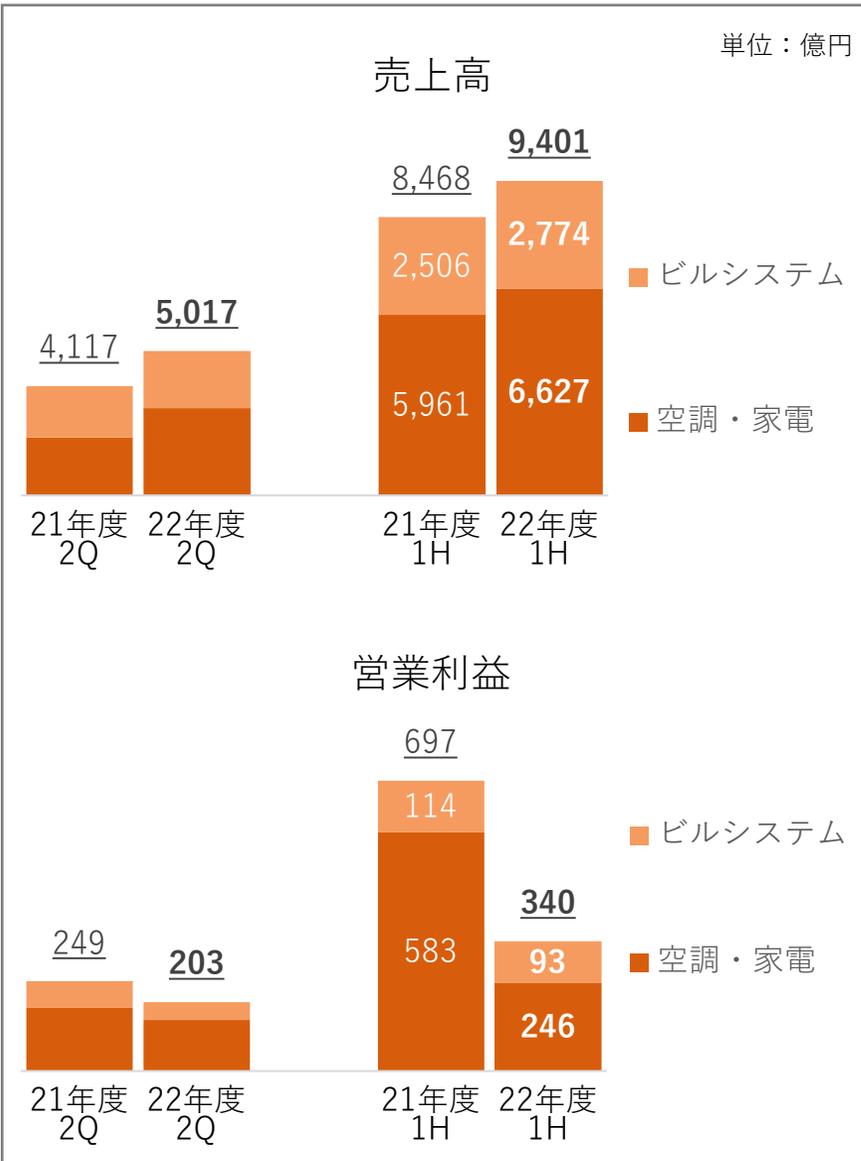
- 事業環境は、半導体部品の需給逼迫の影響はあったが、新車販売台数は前年同期並みとなり、電動車を中心とした市場の拡大に伴う電動化関連製品などの需要も堅調に推移した。
- 円安の影響に加え、モーター・インバーターなどの車両電動化関連製品や自動車用電装品の増加などにより、受注高・売上高ともに前年同期を上回った。

## 営業利益（前年同期比 △112億円）

- 円安の影響はあったが、素材価格・物流費の上昇などにより、前年同期比減益。

(注) 22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# セグメント別実績(1H):ライフ



## 売上高 (前年同期比 +933億円)

### ■ ビルシステム (前年同期比 +267億円)

- 事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による市況低迷からの回復の動きが継続した。
- 円安の影響やアジア・国内の増加などにより、受注高・売上高ともに前年同期を上回った。

### ■ 空調・家電 (前年同期比 +665億円)

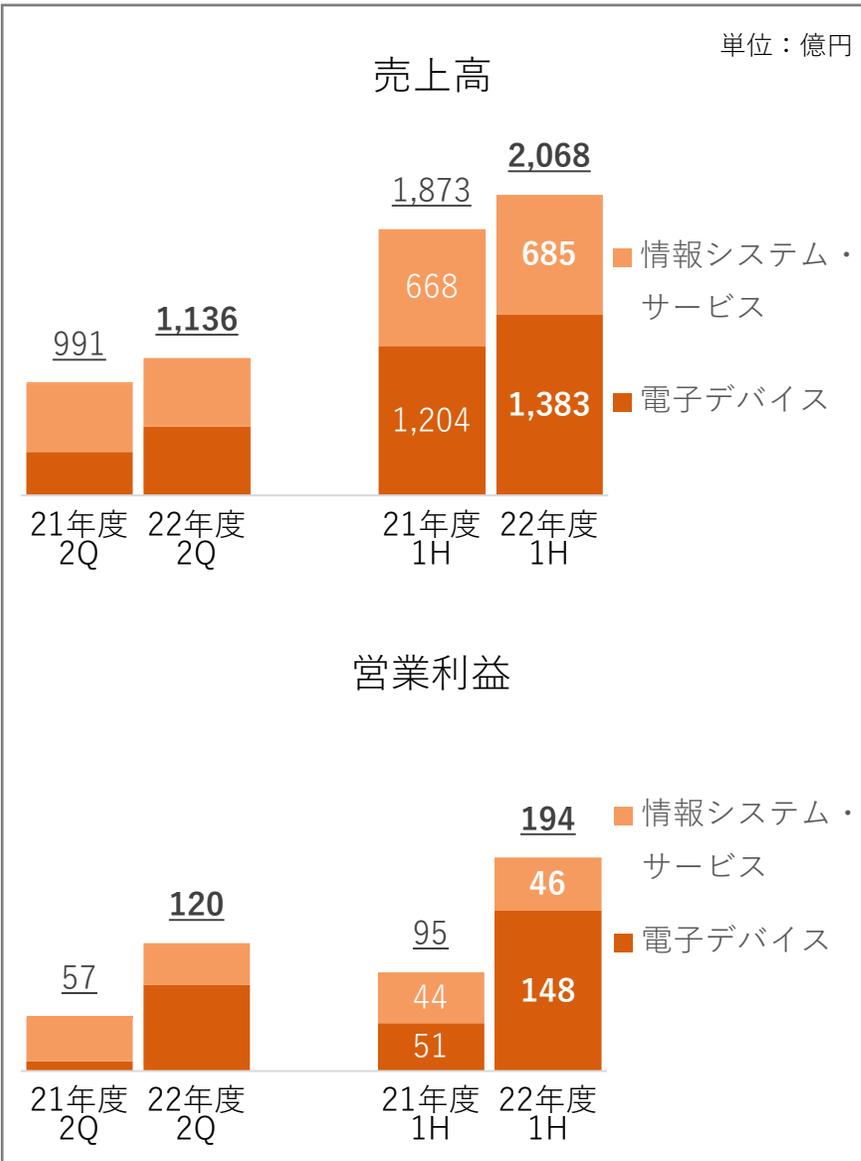
- 事業環境は、2Q以降、上海ロックダウンの影響や電子部品の需給状況に改善の動きが見られた。
- 円安の影響や中国を除くアジア・欧州・国内向け空調機器の増加などにより、売上高は前年同期を上回った。

## 営業利益 (前年同期比 △357億円)

- 円安の影響はあったが、素材価格・物流費の上昇や1Qでの操業度低下などにより、前年同期比減益。

(注) 22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# セグメント別実績(1H):ビジネスプラットフォーム



## 売上高 (前年同期比 +195億円)

### ■ 情報システム・サービス (前年同期比 +16億円)

- 事業環境は、半導体部品の需給逼迫の影響はあったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期されていた案件が再開するなど、需要が堅調に推移した。
- ITインフラサービス事業・システムインテグレーション事業の増加により、受注高・売上高ともに前年同期を上回った。

### ■ 電子デバイス (前年同期比 +178億円)

- 事業環境は、民生・産業向けのパワー半導体や通信用光デバイスの需要などが堅調に推移した。
- 受注高は液晶事業の終息などにより前年同期を下回ったが、売上高は円安の影響に加え、民生・産業向けパワー半導体や通信用光デバイスを中心とした高周波光デバイスの増加などにより、前年同期を上回った。

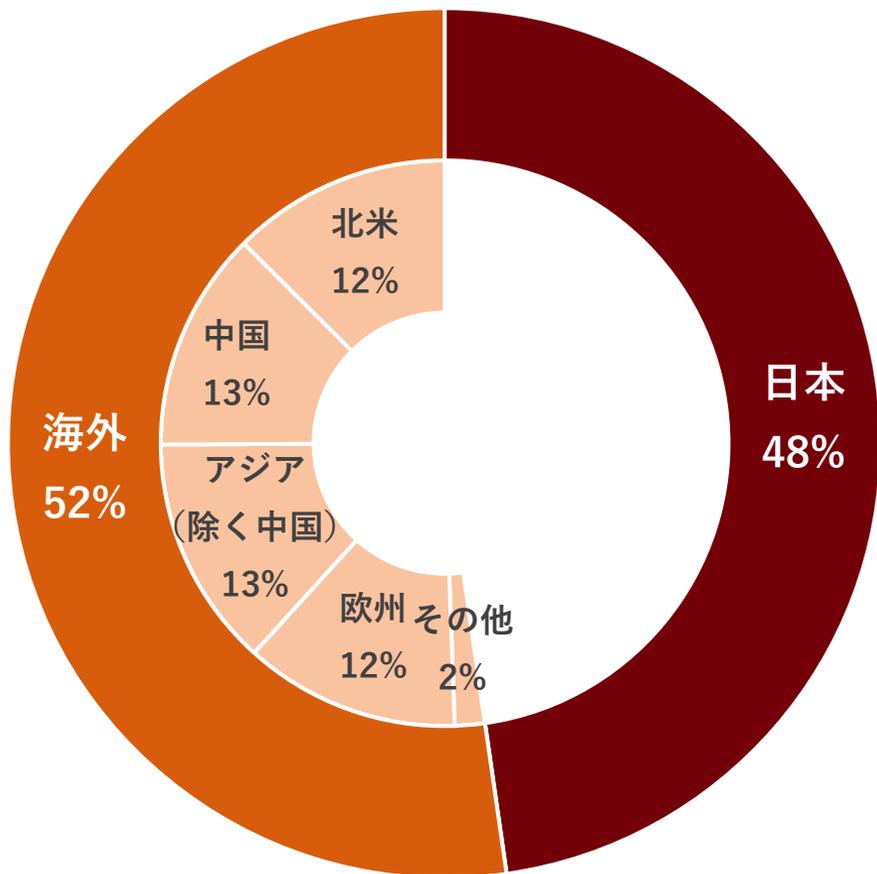
## 営業利益 (前年同期比 +98億円)

- 円安の影響や売上高の増加などにより、前年同期比増益。

(注) 22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# 向先地域別売上高

22年度1H



単位：億円

	21年度 1H	22年度 1H	前年同期比	
日本	10,835	<b>11,166</b>	+331	103%
海外	10,548	<b>12,228</b>	+1,680	116%
北米	2,274	<b>2,927</b>	+652	129%
中国	2,938	<b>2,938</b>	△0	100%
アジア (除く中国)	2,457	<b>3,092</b>	+635	126%
欧州	2,551	<b>2,871</b>	+320	113%
その他	326	<b>398</b>	+72	122%
合計	21,383	<b>23,395</b>	+2,011	109%

# 1株当たり配当金

	21年度	22年度	前年度比
中間配当金	14円	14円	-
期末配当金	26円	未定	-
年間配当金	40円	未定	-

- 01 決算のポイント
- 02 経営環境
- 03 2022年度 第2四半期 実績
- 04 2022年度 見通し**
- 05 補足情報

# 22年度 業績見通し

単位：億円		21年度	前回 <sup>(*)</sup> 22年度 見通し	22年度 見通し	前年度比	前回比	変動内訳 (前回比)
売上高		44,767	47,700	<b>49,700</b>	111%	+2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替影響 +1,570</li> <li>価格転嫁 +250</li> <li>規模変動等 +180</li> </ul>
営業利益		2,520	2,700	<b>2,700</b>	107%	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替影響 +440</li> <li>価格転嫁 +250</li> </ul>
営業利益率		5.6%	5.7%	<b>5.4%</b>	-	△0.3pt	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他<sup>(**)</sup> △690</li> </ul>
税引前当期純利益		2,796	2,950	<b>2,950</b>	105%	-	<sup>(**)</sup> 主な内訳： 物流費△220、電子部品△150、 素材△110、防衛・宇宙システム 採算△110
親会社株主に帰属する当期純利益		2,034	2,150	<b>2,150</b>	106%	-	
		21年度	22年度 2Q以降	22年度 3Q以降			
為替レート	米ドル	113円	120円	135円			
	ユーロ	131円	130円	135円			
	人民元	17.7円	18.0円	19.0円			

(\*)前回：22年7月28日

- 01 決算のポイント
- 02 経営環境
- 03 2022年度 第2四半期 実績
- 04 2022年度 見通し
- 05 補足情報**

# 部門別売上高・営業損益（1H）

	21年度1H			22年度1H			前年同期比		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
単位：億円									
インフラ	4,095	87	2.1%	<b>4,020</b>	<b>△153</b>	<b>△3.8%</b>	△75	△241	△5.9pt
社会システム	1,557	1	0.1%	<b>1,527</b>	<b>△79</b>	<b>△5.2%</b>	△30	△81	△5.3pt
電力システム	1,544	85	5.5%	<b>1,458</b>	<b>42</b>	<b>2.9%</b>	△86	△43	△2.6pt
防衛・宇宙システム	992	0	0.0%	<b>1,034</b>	<b>△116</b>	<b>△11.3%</b>	+41	△116	△11.3pt
インダストリー・モビリティ	7,018	552	7.9%	<b>7,949</b>	<b>439</b>	<b>5.5%</b>	+930	△112	△2.4pt
FAシステム	3,763	626	16.7%	<b>4,059</b>	<b>623</b>	<b>15.4%</b>	+296	△3	△1.3pt
自動車機器	3,255	△74	△2.3%	<b>3,889</b>	<b>△183</b>	<b>△4.7%</b>	+634	△109	△2.4pt
ライフ	8,468	697	8.2%	<b>9,401</b>	<b>340</b>	<b>3.6%</b>	+933	△357	△4.6pt
ビルシステム	2,506	114	4.6%	<b>2,774</b>	<b>93</b>	<b>3.4%</b>	+267	△20	△1.2pt
空調・家電	5,961	583	9.8%	<b>6,627</b>	<b>246</b>	<b>3.7%</b>	+665	△336	△6.1pt
ビジネスプラットフォーム	1,873	95	5.1%	<b>2,068</b>	<b>194</b>	<b>9.4%</b>	+195	+98	+4.3pt
情報システム・サービス	668	44	6.7%	<b>685</b>	<b>46</b>	<b>6.7%</b>	+16	+1	+0.0pt
電子デバイス	1,204	51	4.2%	<b>1,383</b>	<b>148</b>	<b>10.7%</b>	+178	+97	+6.5pt
その他	3,459	94	2.7%	<b>3,930</b>	<b>143</b>	<b>3.6%</b>	+471	+48	+0.9pt
消去又は全社	△3,531	△148	-	<b>△3,974</b>	<b>△158</b>	-	△443	△9	-
連結合計	21,383	1,378	6.4%	<b>23,395</b>	<b>805</b>	<b>3.4%</b>	+2,011	△573	△3.0pt

（注）22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# 部門別売上高・営業損益（2Q）

	21年度2Q			22年度2Q			前年同期比		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
単位：億円									
インフラ	2,231	30	1.4%	<b>2,277</b>	<b>△121</b>	<b>△5.3%</b>	+46	△151	△6.7pt
社会システム	827	△8	△1.1%	<b>839</b>	<b>△54</b>	<b>△6.5%</b>	+11	△45	△5.4pt
電力システム	825	35	4.3%	<b>775</b>	<b>21</b>	<b>2.7%</b>	△50	△14	△1.6pt
防衛・宇宙システム	578	3	0.6%	<b>663</b>	<b>△87</b>	<b>△13.2%</b>	+85	△91	△13.8pt
インダストリー・モビリティ	3,408	205	6.0%	<b>4,304</b>	<b>212</b>	<b>4.9%</b>	+896	+7	△1.1pt
FAシステム	1,827	274	15.0%	<b>2,157</b>	<b>315</b>	<b>14.6%</b>	+330	+41	△0.4pt
自動車機器	1,580	△69	△4.4%	<b>2,147</b>	<b>△103</b>	<b>△4.8%</b>	+566	△34	△0.4pt
ライフ	4,117	249	6.1%	<b>5,017</b>	<b>203</b>	<b>4.0%</b>	+900	△46	△2.1pt
ビルシステム	1,318	58	4.5%	<b>1,458</b>	<b>39</b>	<b>2.7%</b>	+139	△19	△1.8pt
空調・家電	2,798	190	6.8%	<b>3,559</b>	<b>164</b>	<b>4.6%</b>	+760	△26	△2.2pt
ビジネスプラットフォーム	991	57	5.8%	<b>1,136</b>	<b>120</b>	<b>10.6%</b>	+144	+63	+4.8pt
情報システム・サービス	390	38	9.9%	<b>390</b>	<b>36</b>	<b>9.2%</b>	+0	△2	△0.7pt
電子デバイス	601	18	3.1%	<b>745</b>	<b>84</b>	<b>11.3%</b>	+144	+65	+8.2pt
その他	1,854	55	3.0%	<b>2,131</b>	<b>103</b>	<b>4.8%</b>	+277	+47	+1.8pt
消去又は全社	△1,883	△47	-	<b>△2,150</b>	<b>△52</b>	<b>-</b>	△266	△4	-
連結合計	10,719	550	5.1%	<b>12,718</b>	<b>465</b>	<b>3.7%</b>	+1,999	△85	△1.4pt

（注）22年度より報告セグメントの区分を変更しています。21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。

# 部門別売上高・営業損益（業績見通し）

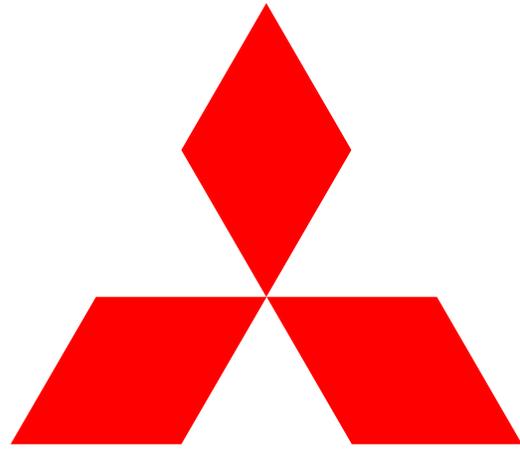
	21年度			前回 <sup>(*)</sup> 22年度見通し			22年度見通し			前年度比			前回比		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
単位：億円															
インフラ	9,461	415	4.4%	9,600	440	4.6%	<b>9,700</b>	<b>250</b>	<b>2.6%</b>	+238	△165	△1.8pt	+100	△190	△2.0pt
社会システム	3,833	153	4.0%	3,900	220	5.6%	<b>3,850</b>	<b>110</b>	<b>2.9%</b>	+16	△43	△1.1pt	△50	△110	△2.7pt
電力システム	3,275	231	7.1%	3,100	180	5.8%	<b>3,300</b>	<b>200</b>	<b>6.1%</b>	+24	△31	△1.0pt	+200	+20	+0.3pt
防衛・宇宙システム	2,351	30	1.3%	2,600	40	1.5%	<b>2,550</b>	<b>△60</b>	<b>△2.4%</b>	+198	△90	△3.7pt	△50	△100	△3.9pt
インダストリー・モビリティ	14,808	964	6.5%	16,100	1,130	7.0%	<b>16,900</b>	<b>1,180</b>	<b>7.0%</b>	+2,091	+215	+0.5pt	+800	+50	△0.0pt
FAシステム	7,761	1,280	16.5%	8,300	1,350	16.3%	<b>8,600</b>	<b>1,400</b>	<b>16.3%</b>	+838	+119	△0.2pt	+300	+50	+0.0pt
自動車機器	7,046	△315	△4.5%	7,800	△220	△2.8%	<b>8,300</b>	<b>△220</b>	<b>△2.7%</b>	+1,253	+95	+1.8pt	+500	-	+0.1pt
ライフ	16,730	926	5.5%	17,500	880	5.0%	<b>18,900</b>	<b>940</b>	<b>5.0%</b>	+2,169	+13	△0.5pt	+1,400	+60	△0.0pt
ビルシステム	5,278	218	4.1%	5,500	270	4.9%	<b>5,700</b>	<b>270</b>	<b>4.7%</b>	+421	+51	+0.6pt	+200	-	△0.2pt
空調・家電	11,451	708	6.2%	12,000	610	5.1%	<b>13,200</b>	<b>670</b>	<b>5.1%</b>	+1,748	△38	△1.1pt	+1,200	+60	△0.0pt
ビジネスプラットフォーム	3,828	264	6.9%	4,300	300	7.0%	<b>4,300</b>	<b>340</b>	<b>7.9%</b>	+471	+75	+1.0pt	-	+40	+0.9pt
情報システム・サービス	1,414	96	6.8%	1,500	100	6.7%	<b>1,500</b>	<b>100</b>	<b>6.7%</b>	+85	+3	△0.1pt	-	-	- pt
電子デバイス	2,414	168	7.0%	2,800	200	7.1%	<b>2,800</b>	<b>240</b>	<b>8.6%</b>	+385	+71	+1.6pt	-	+40	+1.5pt
その他	7,373	267	3.6%	7,500	270	3.6%	<b>7,800</b>	<b>310</b>	<b>4.0%</b>	+426	+42	+0.4pt	+300	+40	+0.4pt
消去又は全社	△7,434	△318	-	△7,300	△320	-	<b>△7,900</b>	<b>△320</b>	<b>-</b>	△465	△1	-	△600	-	-
連結合計	44,767	2,520	5.6%	47,700	2,700	5.7%	<b>49,700</b>	<b>2,700</b>	<b>5.4%</b>	+4,932	+179	△0.2pt	+2,000	-	△0.3pt

（注）22年度より報告セグメントの区分を変更しています。22年度通期見通しの数値を新区分にて表示しているほか、21年度の数値についても新区分に組み替えて再表示しています。（\*）前回：22年7月28日

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 資金調達環境
- ⑤ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 訴訟その他の法的手続き
- ⑧ 製品やサービスの品質・欠陥や瑕疵等に関する問題
- ⑨ 地球環境（気候関連対応等）等に関連する法規・規制や問題
- ⑩ 人権に関連する法規・規制や問題
- ⑪ 急激な技術革新や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑫ 事業構造改革
- ⑬ 情報セキュリティー
- ⑭ 地震・津波・台風・火山噴火・火災等の大規模災害
- ⑮ 地政学的リスクの高まり、戦争・紛争・テロ等による社会・経済・政治的混乱
- ⑯ 感染症の流行等による社会・経済・政治的混乱
- ⑰ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項



**MITSUBISHI  
ELECTRIC**

*Changes for the Better*